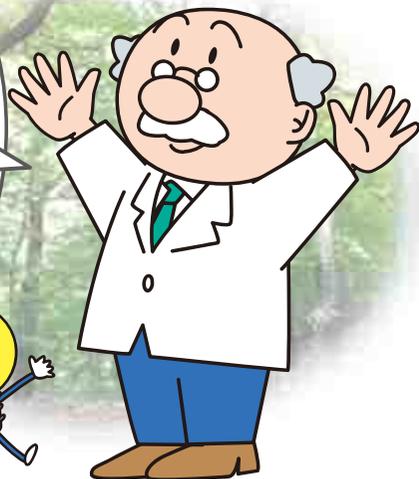


市民太陽光発電所とは



かつて「公害の街」として知られていた北九州市は、市民と企業、行政が力を合わせ、青い空と海をとりもどしました。今では日本の循環型社会づくりのけん引役を果たし、「世界の環境首都」を目指しています。「市民太陽光発電所」は、多くの市民の方々から、「環境未来都市北九州市のシンボルとなるような太陽光発電所を建設してほしい」との提案から計画がスタートし、平成25年8月、市制50周年の記念事業の一つとして完成しました。

「世界の環境首都」を目指す北九州市らしい発電所じゃ。



アクセス

- JR若松駅から
……車で約15分
- JR小倉駅から
……車で約30分
- 若松区響町2丁目
響灘ビオトープ隣



見学の申込先

北九州市エコタウンセンター

〒808-0002 北九州市若松区向洋町10番20号
TEL.093-752-2881 FAX.093-752-2882
HP <http://www.kitaq-ecotown.com/>

※開館時間／月曜～土曜9:00～17:00(祝日除く)
※発電所に行くには、2週間前迄に申込みが必要です。

施設に関するお問い合わせ先



PORT OF
KITAKYUSHU
北九州 歴史と夢は 港から



北九州空港
KITAKYUSHU AIRPORT

北九州市港湾空港局 総務課

〒801-8555 北九州市門司区西海岸一丁目2番7号
TEL.093-321-5916 FAX.093-321-5915
HP <http://www.kitaqport.or.jp/>

市民太陽光発電所のことをもっと詳しく知りたい方はQRコードからアクセス。



北九州市 市民太陽光 発電所



市民のチカラで
発電所が出来たぞい。



北九州市 市民太陽光発電所のしくみ

市民太陽光発電所は、多くの市民の皆様にご協力頂いた市民公募債や寄付金で建設されました。寄付を頂いた方のお名前は、発電所内に設置した芳名板に記載されています。また、発電により得られた収入の一部を利用して、市民還元事業を実施している、全国的にも例のない公設公営のメガソーラーです。

※市民公募債とは・・・通常の公債と異なり、市内にお住まいの方、お勤めの方などを対象として販売したものです。

子どもたちのために

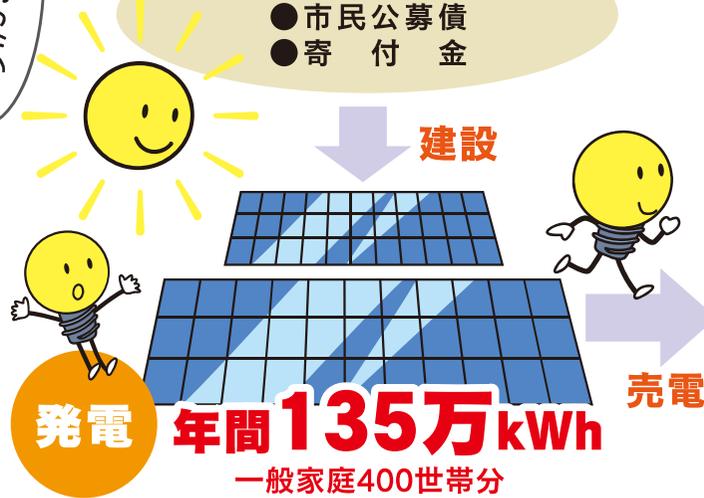


全国でも例のないシステムなんじゃない



- 市民公募債
- 寄付金

建設



発電

年間135万kWh

一般家庭400世帯分

売電

緑化活動



地域活動



体験学習



必要な費用を除いた金額を
市民に還元します。



発電された電気は電力会社に全て売ります。

支払い

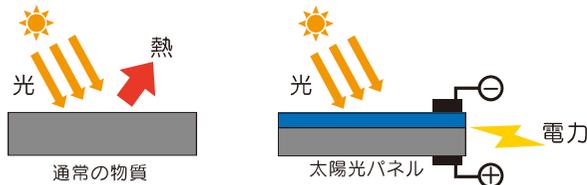


発電所のメンテナンス、市民公募債の返済に使います。

太陽光発電とは

太陽の光と虫めがねを使ってティッシュペーパーや紙が燃えるように、太陽の光はエネルギーを持っています。これは太陽光のエネルギーが熱エネルギーに変わった事例です。

太陽光発電のシステムは、太陽光パネル(太陽電池)を使い太陽の光エネルギーを電気エネルギーに変えるものです。せっかくなので、熱に変わる前に電気として利用するしくみです。また、太陽光パネル(太陽電池)は、一般的な「電池」のように、蓄電する機能はありません。その代わりに、石油や石炭といった化石燃料は必要とせず、CO₂を排出しないクリーンなエネルギーです。



太陽光発電所の全景



デマンド
「現在の発電電力」やこれまでの「総発電電力量」「総CO₂削減量」を表示するパネルです。



寄付者の芳名板
この市民太陽光発電所の建設費を寄付してくださった方のお名前を載せています。



パワーコンディショナ
太陽光パネルで発電した直流の電気を、電力会社に売電するため、交流に変える装置です。

発電所のプロフィール

所在地	北九州市若松区響町2丁目
敷地面積	2.3ha
設備規模	1,500kW(1.5メガ)
発電量	135万kWh/20年平均(一般家庭400世帯分)
売電	電力会社へ全量売電(20年間)
建設費	517,731千円 ・市民公募債500,000千円 ・寄付金 17,731千円(寄付者/6,783名)
竣工	平成25年8月23日
売電開始	平成25年9月1日
事業期間	平成25年度から20年間

市民還元事例



緑化活動



地域活動



体験学習